

松沢よしはる議員の代表質問(11月定例区議会)



新庁舎建設について



松沢議員 JR王子駅東側に移転予定の新庁舎は、時代の変化や将来の行政サービス再編にも対応できる視点が重要ではないか。事業スケジュールは？

区長 将来的に庁舎規模が小さくなる時には公共施設の再配置など積極的な転用を図り、多様な働き方に対応できる柔軟性を備えることを目標にする。令和5年度から設計に着手し、令和10年度以降に国立印刷局から建設予定地の引渡し後工事に着手し、令和15年度頃の開庁を目指す。

教育二学期制について

松沢議員 区立小中学校の二学期制検証結果において、中学校での高校受験への問題と生徒の学習負担増などが明確になった。至急の対応を求める。

教育長 早急な検討が必要である中学校の定期考査や通知表作成の時期や回数について、改善策を検討しているが協議を重ねる時間は必要と考える。

私立幼稚園保護者への負担軽減について

松沢議員 物価高騰の影響により私立幼稚園で提供されている給食価格の値上がりを懸念する。保護者が負担する給食費への支援と、近隣区と比べ補助額が低い私立幼稚園児童の保護者への補助金の拡充を求める。

教育長 給食にかかる費用について物価動向等に注視しつつ必要な支援策実施を検討する。私立幼稚園保護者への補助金も適切な見直しを図られるよう検討する。

新型コロナ対策について

松沢議員 第8波では小児医療のひっ迫を懸念する。子どもへ抗原検査キットを無償配布してはどうか？

区長 指摘の通りに小児科医療のひっ迫への対策は喫緊の重要課題だと認識している。議員提案の小児への抗原検査キットの配布を含め、効果的な対策を早急に検討する。

浮間ルートにE.V(電気)バス導入を求める

松沢議員 コミュニティバス新規路線である浮間地域ルートの運行が、エンジン認証不正問題によるバス車両の生産遅延のため延期された。燃料を使用しないCO2排出ゼロのE.Vバス車両を私から提案し、導入を強く求める。

区長 早期の運行開始に向け、議員提案のE.Vバス車両を含め積極的にE.Vバスの導入を検討する。

地域のきずなづくりに向け

松沢議員 区内で行われている祭りや伝統芸能、地域独自の文化や産業などの映像をデジタルアーカイブとして誰でも閲覧できるようにしては？

教育長 北区指定民俗文化財などを広く公開することは保存や継承にもつながるので、インターネット公開を視野に入れて今後取り組んでいく。

松沢議員 地域担い手づくりのためにも、地域コミュニティ活動におけるICT活用への支援が必要である。町会自治会活動のデジタル化を支援する相談アドバイザーの派遣や、民生児童委員活動におけるデジタル化支援と、赤羽会館と滝野川会館にWi-Fi環境の設置を求める。

区長 感染防止対策とともに若い世代の参加や活動の活性化に向けた地域活動のデジタル化を支援していく。アドバイザー派遣は専門的な知見から助言できるような取組を検討する。また、東京都からモバイルPCが配布される民生児童委員への支援とともに効果的に活用できるWi-Fi環境の整備についても検討する。

松沢議員 区内に「アニメ・のらくろ」と「漫画家・清野とある氏」をデザインに描いたマンホール蓋があり、地域振興に活用されている。地域活性化にも貢献できる「東京ヴェルディ・ベレーザ」や「浮間の桜草」のデザインマンホール設置を提案する。

区長 今年度は飛鳥山公園そばに「しぶさわくん」を設置予定であり、議員提案の「東京ヴェルディ・ベレーザ」や「浮間の桜草」などをデザインマンホールとして活用していくことは地域の魅力を発信する有効な手段と考える。

令和5年度予算要望書を提出

11月4日花川区長に令和5年度の予算編成に関する要望書を提出しました。内容は、原油原材料など価格高騰による物価高騰対策をはじめ、新型コロナウイルス感染症対策と地域経済の回復、新庁舎建設、北区ゼロカーボンシティ宣言を踏まえた取組み、ファミリー層の定住化に向けた子育て施策の拡充、教育環境の充実、地域の絆づくり、地震・水害に強い安心・安全な街づくりを進めることなどの課題解消に向け、各種業界団体へのヒヤリングや、各議員による地域要望をまとめたものです。

自民党議員団はこれからも地域の声を区政に反映してまいります。



第4回定例会

補正予算にて 要望が実現!

前回定例会にて自民党議員団の代表質問で要望した物価高騰対策へのさらなる支援として、子どもたちへの学習支援(18歳以下に図書カード8,000円配布)や低所得の子育て世帯等への追加給付、障害福祉サービス事業所や民間保育所等のエネルギーコスト等の経費支援、子ども食堂経費への支援などの各事業が、第4回定例会の補正予算に盛り込まれました。